

## 予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算      支出科目 款：教育費      項：教育総務費      目：教育指導費

### 事業名    グローカル探究実践事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 学校支援課 総合支援第二係 電話番号：058-272-1111 (内 3677)

教科教育第二係 電話番号：058-272-1111 (内 3547)

産業教育係            電話番号：058-272-1111 (内 3881)

E-mail : [cl7782@pref.gifu.lg.jp](mailto:cl7782@pref.gifu.lg.jp)

**1 事業費    7,500 千円 (前年度予算額：11,000 千円)**

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	11,000	0	0	0	0	0	0	0	11,000
要求額	7,500	0	0	0	0	0	0	0	7,500
決定額									

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

AIやIoT等の急速な発展により社会が激しく変化する中、文系・理系という枠にとらわれず、5つの領域の学び (STEAM教育=Science、Technology、Engineering、Liberal Arts、Mathematics) を統合して深く探究し、課題の発見・解決や社会的な価値を創造する資質・能力を育成する取組が必要とされている。

### (2) 事業内容

国内外の教育機関や専門性が高い機関、さらに、国際的な企業や地域の関係者など、今まで以上に幅広い外部機関・関係者と連携し、より高度な知見・専門性に基づいて、教科横断的・探究的な学習を実施し、「ふるさと教育」を推進する。

### (3) 県負担・補助率の考え方

県負担 10/10

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	700	外部講師謝金
旅費	900	外部講師旅費等
消耗品費	1,983	研究活動費等
印刷製本費	30	研究報告書
役務費	550	講習会料等
使用料及び賃借料	357	バス借上げ等
備品購入費	2,930	研究機材等
負担金	50	大会参加費
合計	7,500	

### 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

#### ・第3次岐阜県教育ビジョン

基本方針1 んふへの愛着をもち、世界に視野を広げ活躍する人材の育成

目標2 「ふるさと岐阜」を学びふるさと教育の充実

目標4 優れた才能や個性を伸ばす教育の推進

# 事業評価調査（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 令和4年度からの新学習指導要領実施に備え、各教科での学習を実社会での問題発見・解決に活かしていくための、教科横断的・探究的な教育（STEAM教育）を推進する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
						達成率
① 教科横断的・探究的な教育を実施する高校数	未集計	未集計	63	63	63	—%
②						%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価)	A I や I o T 等の急速な発展により社会が激しく変化する中、課題の発見・解決や社会的な価値を創造する資質・能力を育成する必要があるため。
3	
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	整備された I C T 環境により、オンラインで外部機関や他校の生徒と連携するため。
2	

### (今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 「ふるさと教育」を充実・深化し、教科横断的・探究的な教育（S T E A M 教育）の推進が必要である。</p>
---

### (次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新学習指導要領実施とともに、先導的な取組みを先行実施し、その成果を各校に反映・展開する。</p>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	【〇〇課】